

日記

十二月一日（朝 日光浴）

大木の紅葉は上から下まで日が透き通つてゐてその梢の外れに日輪の顔が溢れて炎々一團の光を放つてゐる。その光の中をハラ／＼ハラ／＼と輝き乍ら降り頻る紅葉白葉黄葉白葉が忽ち庭に一杯に敷く。烈風の落葉日和。大落葉なぞいふ言葉は如何。牡丹の霜除出來。

ねんねこの母子に黄葉降り頻り

十二月二日（晴れて冷える風強くて日光浴休み）

昨日の風で錦木は半分以上散つて了つたけれども大木の紅葉は未だ七分以上残つてゐて日輪を透き通してゐる。

大紅葉日輪籠る梢かな

十二月三日（朝 日光浴）

丁度正午が大木の紅葉が日に透き通つて美しい。錦木も美しいけれども八分以上散つて了つた。